

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

「未来を拓く」朝日西の子の育成を目指す。

校訓

- ◎ 思いやりのある子 (徳)
- ◎ 進んで勉強する子 (知)
- ◎ たくましく生きる子 (体)



目指す児童像

- 思いやる心・共に生きる態度のそなわった子 (豊かな心)
- 他者と協働し、目標に向かって**主体的に**課題を解決する子 (確かな学力)
- 運動に親しみ、健康で安全に生きる子 (健やかな体)

(2) 経営方針

ひとりひとりが主人公 輝け! 笑顔の朝西っ子

- 信頼される学校 (みんながにこにこになる学校)
- 自己肯定感・有用感をもち、生き生きと生活する子ども (きらきら輝く子ども)
- 子ども一人ひとりのよさや個性を生かし、伸ばす教師 (わくわくさせる教師)

- ア 基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせるとともに、言語に関する能力を高め、思考力・判断力・表現力および、主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。
- イ 基本的な生活習慣やあいさつ習慣、規律を身に付けさせるとともに、道徳の時間、人権教育やさまざまな体験活動を通して、豊かな心の育成に努める。
- ウ 食育、健康安全教育や防災教育を通して、運動に親しみ健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
- エ 国際理解教育、環境教育を通して、地域や我が国、諸外国の伝統や文化を理解・尊重したり、よりよい環境作りに主体的に取り組んだりする力を育成する。図書館教育や情報教育、一人一台端末等のICT活用を通して、豊かな情操の育成を図るとともに、情報モラルを身に付けさせ、情報活用力を育成する。またキャリア教育を推進し、自己のよりよい生き方を探究する活動を通して、自己実現及び自己有用感の育成を図る。
- オ 学校外への情報発信や地域人材の活用を積極的に進めることにより、地域や社会と目標を共有しながら、教育活動の充実を図る。
- カ いじめや問題行動の早期発見解決に努め、危機管理意識の向上や体制の充実に努めるとともに、危険を予知し事故を未然に防ぎ生命を大切にす態度と能力の育成に努める。

(2) 本年度の重点努力目標

- ① 確かな学力を育む学校
- ② 豊かな心を育む学校
- ③ 健やかな体を育む学校
- ④ 信頼される学校

① 他者と協働し、目標に向かって**主体的に**課題を解決する子を育むために

- ア 「朝西っ子 きらきら5か条」をもとに学習規律の習慣化を図る。
- イ 授業の終末に振り返りの時間を位置づけ、学んだことの定着と課題解決に向けたよりよい学び方の習得を図る。
- ウ ICT 機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

② 他を思いやる心・共に生きる態度のそなわった子を育むために

- ア 特別支援教育への理解啓発、縦割り班活動による異学年交流、行事と関連させた事前事後の道徳の時間の充実を図り、思いやりの心・共生の心を育む。
- イ 授業等で、3つの愛(合い)「認め合い」「学び合い」「高め合い」を意識した教育活動に**継続して**取り組む。
- ウ ソーシャルスキルトレーニングなどの活動を計画的に取り入れ、共感的人間関係を築くとともに、自尊感情を育む。

③ 運動に親しみ、健康で安全に生きる子を育むために

- ア 体育の授業における準備運動を工夫するとともに、学校行事等を通して体力向上を図る。
- イ フッ化物洗口や歯磨き指導を行い、う歯や歯肉炎の予防に努める。
- ウ 保健だよりを活用した学級指導を行い、生活習慣の改善・定着を図る。

④ 信頼される学校づくりのために

- ア QUを全学年で実施し、支援が必要な児童を把握し、適切な支援を行う。
- イ 教科担任制を取り入れ、複数の教師で児童を見守り、問題の早期発見・対応に努める。
- ウ 情報活用教育を充実させ、今日的な課題に対応する能力の向上に努める。
- エ 学校公開やウェブサイト等を活用して学校の様子を伝えるなど、積極的な情報発信に努めることにより、学校の教育活動の可視化を図る。
- オ 多忙化解消に向けての業務改善を図る。